事例作成日	2020年6月12日	登録日時		更新日時	
質問	①熊谷市塩地区にある巨大榎に関する資料全般。樹齢、大きさ、大木に関するいわれ、出来事など知りたい。				
回答	塩字明賀にある大榎。滑川町和泉地区に行く近道で、ここから峠に入る入り口の目印となっている。 樹齢300年位。インターネットの環境省の巨樹・巨木データベースによると、樹高７m、幹周囲４．３m。 『江南町史　資料編５　民俗』P831には、「塩の明賀にある大榎の元にあるお地蔵様も疣地蔵とも呼ばれ、疣を取ってくださいと言って、泥の団子を供えて祈願し、願いがかなえられると、お礼に今度は本物の団子を供えるようです。今でも時々団子が上がっているそうです」とあり。 写真として『江南町史　通史編　下』裏表紙の裏、『広報江南』2000年2月Ｎｏ，３２４　Ｐ１２　「のこておきたい江南風景　土地改良によって、この木は伐採も検討されましたが、あまりにみごとな榎木、そして傍らの石仏に神木を感じ、残されたものです。」、『写真集　江南の四季』Ｐ４９「一本榎の秋」あり。				
参考資料	『江南町史　資料編５　民俗』P831　　平成８年 『広報江南　Ｎｏ，324』P12　平成12年 『江南町史　通史編　下』裏表紙裏　平成16年 『写真集　江南の四季』P49　平成17年				